

家康公シンポジウム 2025

家康公と三河譜代

家康公の偉業を支えた三河譜代の家臣たち。

今回は、家康公の参謀とも軍師とも称された本多正信に光を当てつつ、
譜代筆頭 酒井忠次、武功派代表 本多忠勝などを中心に
「三河譜代」の活躍と功績に学びます。

徳川十六神将図 / 法蔵寺 蔵

日時

令和7年 2月1日(土) 13時30分～16時30分
(開場 12時30分)

会場

岡崎市せきれいホール (岡崎市朝日町3丁目36-5)

内容

第1部 基調講演

「本多正信の台頭」

講師 静岡大学名誉教授 本多 隆成 氏

第2部 パネルディスカッション

「家康公と三河譜代」

[コーディネーター・パネリスト] 公益財団法人徳川記念財団 理事長 徳川 家広 氏

[パネリスト] 静岡大学名誉教授 本多 隆成 氏

[パネリスト] 東京大学学術博士 上垣外 憲一 氏

定員

500名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

申込

家康公検定ホームページよりお申込みください。

※「家康公検定」で検索

web申込用



聴講
無料



主催 / 一般社団法人徳川家康公に学ぶ会

協賛 / 公益財団法人徳川記念財団・岡崎商工会議所・岡崎市徳川家康公顕彰推進協議会

もっと岡崎、もっと家康

講師・パネリスト紹介

【コーディネーター・パネリスト】



公益財団法人徳川記念財団理事長
徳川宗家19代当主

とくがわ いえひろ
徳川 家広氏

1965年東京生まれ。慶応義塾大学卒業後、米シガン大学で経済学修士号を取得。国連食糧農業機関（FAO）ローマ本部などで勤務の後、米コロンビア大学で政治学修士号を取得。2000年末に帰国してからは翻訳家、政治経済評論家として活動。

著書に『自分を守る経済学』（ちくま新書）、『マルクスを読み直す』（筑摩選書）。訳書に『豊かさの誕生』（日本経済新聞出版社）など。

【講師・パネリスト】



静岡大学名誉教授
徳川みらい学会理事

ほんだ たかしげ
本多 隆成氏

1942年大阪市生まれ。大阪大学大学院文学研究科修了。静岡大学教授、放送大学静岡学習センター所長を歴任。専門は戦国史・近世史で、戦国期から近世にかけての東海地域史研究や徳川家康研究の第一人者として活躍。

著書に、『定本 徳川家康』『徳川家康と関ヶ原の戦い』『徳川家康と武田氏 信玄・勝頼との十四年戦争』『初期徳川氏の農村支配』（以上、吉川弘文館）、『近世の東海道』（清文堂出版）など。

【パネリスト】



国際日本文化研究センター元教授
東京大学学術博士

かみがいと けんいち
上垣外 憲一氏

1948年松本市生まれ。東京大学教養学科卒業、同大学院修了後、国際日本文化研究センター、大妻女子大学等の教授を歴任。比較文学・文化学者で古代からの日本と朝鮮半島との関わりに関する論考が多い。

著書に『倭人と韓人』『雨森芳洲 元禄享保の国際人』『文禄・慶長の役 空虚なる御陣』（講談社学術文庫）、『鎖国前夜ラブソディ 惺窩と家康の「日本の大航海時代」』（講談社選書）など。

■ 車座の徳川十六神将図

法蔵寺 蔵（岡崎市本宿町）



① 酒井忠次

② 松平康忠

③ 榊原康政

④ 大久保忠世

⑤ 高木清秀

⑥ 内藤正成

⑦ 本多忠勝

⑧ 大久保忠佐

⑨ 蜂屋貞次

⑩ 米津常春

⑪ 服部正成

⑫ 鳥居忠広

⑬ 渡辺守綱

⑭ 鳥居元忠

⑮ 平岩親吉

⑯ 井伊直政

■ 三河譜代とは

一般的には、家康公が三河・岡崎城主の時代までに松平家に仕えた家臣を指します。『三河物語』（大久保彦左衛門忠教著）では、仕えた時期により「安城譜代」「山中譜代」「岡崎譜代」に区分しています。また、『武徳大成記』（幕府編纂の歴史書）では、「岩津譜代」「安城譜代」「岡崎譜代」と区分しており、異同がみられます。

会場：岡崎市せきれいホール



※駐車場：せきれいホール(30台)、市役所東立体駐車場(250台)が利用可能ですが、限りがありますので公共交通機関のご利用をお勧めします。